

大納言兼大將軍 大伴 卿の歌一首

五一七番

神木かむきにも 手ては触ふるといふを うつたへに 人妻ひとつま  
といへば 触ふれぬものかも

石川郎女の歌一首

五一八番

春日野かすがのの 山辺やまへの道みちを 恐おそりなく 通かよひし君きみが  
見みえぬころかも

大伴女郎の歌一首

五一九番

雨あまつつみ 常つねする君きみは ひさかたの 昨夜きのよの雨あめに  
懲こりにけるかも

後の人の追おひて同ひとふる歌一首

五二〇番

ひさかたの 雨あめも降ふらぬか 雨あめつつみ 君きみにたぐ  
ひて この日暮ひくらさむ